

平成 17 年度 江戸川区「行政評価」事務事業分析シート

整理番号	27	作成日	平成 17 年 6 月 20 日
事業名	がん検診		
所属名	健康部 健康推進課 計画係	電話番号	(03) 5661-2463 (直通)

事業の目的・課題	事業の目的及び概要
	老人保健法第二十一条（市町村が行う医療等以外の保健事業）に基づき実施。がん検診の受診率向上を促進し、早期発見、早期治療を行うことにより、がんによる死亡率の大幅な減少を目指します。
	事業の開始年度 昭和47年胃がん・子宮がん/昭和61年肺がん・乳がん/昭和63年大腸がん検診実施
	現在の課題

- ① 早期発見・早期治療のための、がん検診受診率の向上
- ② 受診者の増加に伴う歳出予算増を軽減するための、受益者負担の検討

対象	事業の対象者と動向	<input type="checkbox"/> 区民全体 <input checked="" type="checkbox"/> 対象年齢あり（種別により設定）										
	[対象者の人口・各年4月1日現在]	<input type="checkbox"/> 対象条件（)										
	<table border="1"> <tr> <th>14年度</th> <th>15年度</th> <th>16年度</th> <th>17年度</th> <th>18年度</th> <th>対象の傾向</th> </tr> <tr> <td>403,449人</td> <td>411,605人</td> <td>420,300人</td> <td>468,633人</td> <td></td> <td>↗ 増加傾向</td> </tr> </table>	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	対象の傾向	403,449人	411,605人	420,300人	468,633人	
14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	対象の傾向							
403,449人	411,605人	420,300人	468,633人		↗ 増加傾向							

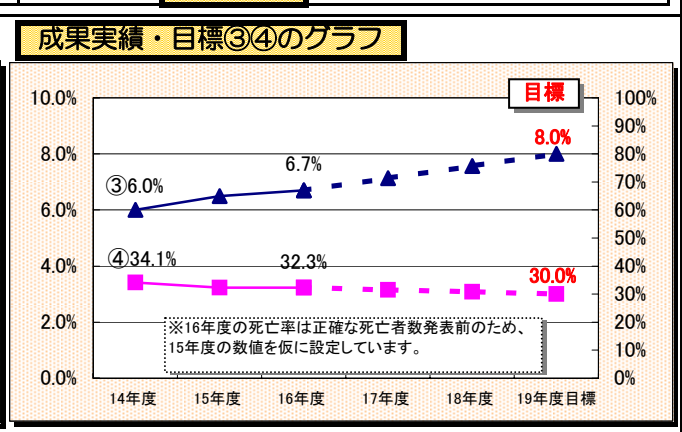
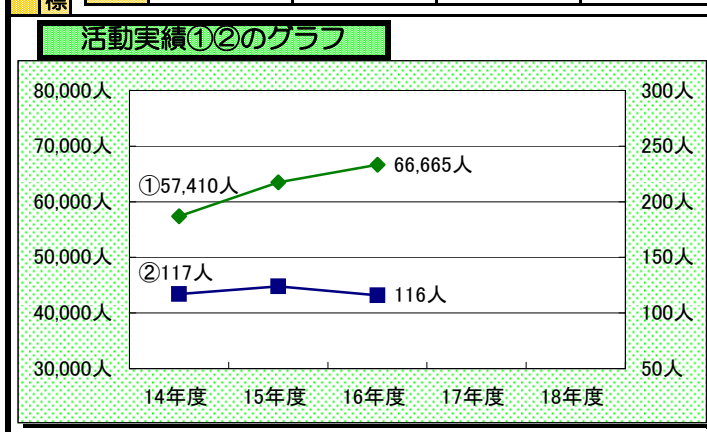
備考： 受診できる方は、区内に住所を有する方で、各検診の対象年齢[胃がん・子宮がん・乳がん(30歳以上)肺がん・大腸がん(40歳以上)]の方 ※平成17年度、子宮がん検診が対象年齢20歳以上、2年に1回受診と変更になりました。

活動状況	活動指標名	活動指標の説明
	① がん検診の受診者数	1年間に各種がん検診を受診した延べ人数
	② がん検診によるがん患者の発見数	1年間に各種がん検診により発見されたがん患者の人数

活動実績		14年度	15年度	16年度	17年度	18年度
	①	57,410人	63,469人	66,665人	人	人
	②	117人	124人	116人	人	人

成果指標	成果・目標指標名	成果・目標指標の説明
	③ がん検診平均受診率	40歳以上(一部30歳以上)の検診受診対象者のうち、実際に検診を受診した人の割合の平均 ※平成17年度より一部20歳以上
	④ がんによる死亡率	区内の年間死亡者数のうち、がんにより死亡した人の割合

成果実績・目標		14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度目標	目標値設定の説明
	③	6.0%	6.5%	6.7%	0.0%	0.0%	8.0%	がん検診を受診することにより、早期発見・早期治療を行い、がんによる死亡率を減らします。
	④	34.1%	32.3%	32.3%	0.0%	0.0%	30.0%	



事業名 がん検診

実施の根拠となる法令等

老人保健法
がん重点教育及びがん検診実施のための指針（厚生労働省）

民間委託やボランティアなどとの協働の状況

なし あり

委託等の内容（ 検診・分析・結果通知委託（江戸川区医師会） ）

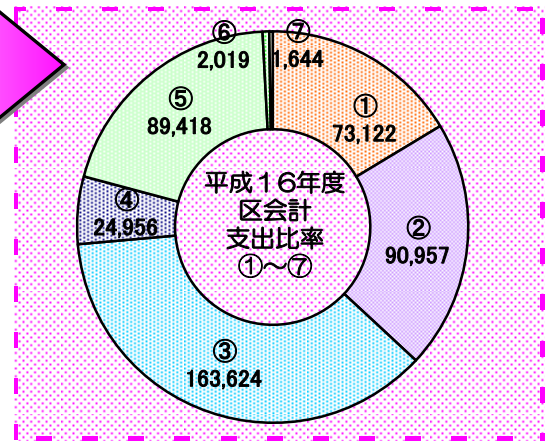
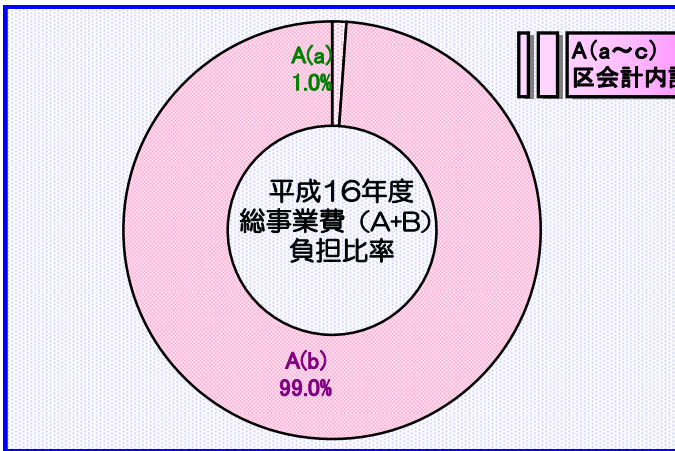
対象事業に関連する他の事業

	事業名	事業概要
①	前立腺がん検診	平成14年度開始。平成16年度年間経費7,803千円。平成18年度対象年齢(60歳65歳70歳)。
②		
③		

その他背景・他の自治体の状況等

- ・1981年以来、悪性新生物（がん）による死亡が死亡原因の第1位になっている。
- ・1998年から、国庫補助金が廃止された。
- ・特別区23区中14区が全部もしくは一部の検診について受益者負担を導入。

16年度総事業費（A+B） 445,740千円



A 区の会計内訳（a～c） 445,740千円

A(a) 国都支出金（歳入）	4,576千円
A(b) 区負担分	441,164千円
A(c) 受益者負担（歳入）	0千円

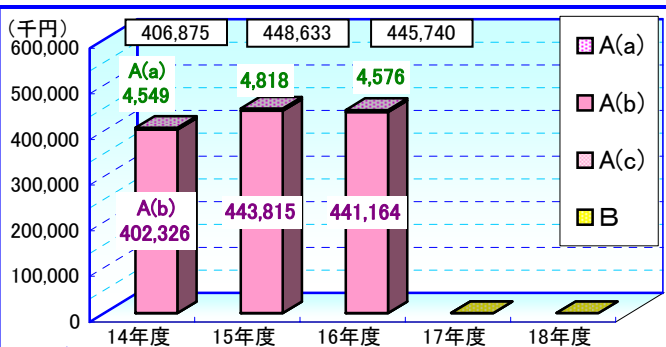
支出内訳（①～⑦）

① 胃がん検診	73,122千円
② 乳がん検診	90,957千円
③ 子宮がん検診	163,624千円
④ 大腸がん検診	24,956千円
⑤ 肺がん検診	89,418千円
⑥ その他	2,019千円
⑦ 人件費	1,644千円

B 受診者が事業者等へ直接支払う額

0千円

総事業費の経年変化（14年度～）



ア 常勤職員	0.2人
イ 非常勤職員	0人
ウ 臨時職員	0人

16年度の

受診者一人あたりの経費

6,686円

経費の説明

がん検診にかかる全ての経費を、公費で負担しています。

経費は全額 区が負担しています

平成17年度 江戸川区「行政評価」内部評価シート

整理番号	27	事業名	がん検診
------	----	-----	------

所属名	健康部 健康推進課 計画係
-----	---------------

所管課長評価

そう思う ←  → そう思わない

評価項目	評点	5	4	3	2	1	備考
【必要性・代替性】							
1	区が実施すべき事業である。	○					
2	目的を達成するために他の手段がある。				○		
【実績】							
3	事業の目的を果たしている。		○				
4	事業の成果を上げている。		○				
【公平性】							
5	対象者や実施回数、助成額等は適切である。		○				
6	受益者負担を検討する必要がある。		○				
【協働の可能性】 ※既に実施している場合は、拡大・維持・縮小の可能性として評価							
7	ボランティアやNPOの活用が可能である。				○		
8	民間委託の可能性はある。						
【効率性】							
9	工夫や改善が必要である。			○			
10	経費を削減できる可能性はある。		○				

所管部長の意見

一部自己負担の導入となれば、受診抑制が働く可能性は高い。受診者増により早期発見・治療の機会を拡大することの慎重な検討を要す。

平成17年度 江戸川区「行政評価」外部評価シート

整理番号	27	事業名	がん検診
-------------	----	------------	------

所属名	健康部 健康推進課 計画係
------------	---------------

外部評価委員会評価

そう思う ← → そう思わない

評価項目	評点	5	4	3	2	1	備考
【必要性・代替性】							
1	区が実施すべき事業である。				○		
2	目的を達成するために他の手段がある。		○				
【実績】							
3	目的を果たすために有効な事業である。		○				
4	事業の成果を上げている。		○				
【公平性】							
5	対象者や実施回数、助成額等は適切である。		○				
6	受益者負担を検討する必要がある。		○				
【協働の可能性】 ※既に実施している場合は、拡大・維持・縮小の可能性として評価							
7	ボランティアやNPOの活用が可能である。				○		
8	民間委託の可能性はある。			○			
【効率性】							
9	工夫や改善が必要である。		○				
10	経費を削減できる可能性がある。		○				

外部評価委員会の意見

- ・企業としては、大切な人材が予期せず重篤な状況になってしまうことは大きな損失でもあり、早期発見のための受診を勧めている。
- ・無料検診によって早期のガン発見や健康全般に対する区民の意識が高まっている。今後も継続的な事業実施をお願いしたい。
- ・経費については、全額を区が負担しなくてもよいのではないか。受益者負担の考え方もある。
- ・受益者負担を多少求めても、区が懸念するほどは受診率に影響しないのではないか。
- ・健康は個人の自己管理責任であるという観点から、受益者負担を求めてもよいのではないか。